

【応募用紙】

1 応募者概要

事業所	名称	(ふりがな：よこはまりよくちかぶしきがいしゃ) 横浜緑地株式会社		
	代表者役職・氏名	代表取締役 樋熊 浩明	従業員数	161名
	所在地	〒235-0033 横浜市磯子区杉田4丁目5番10号		
	ホームページアドレス	http://www.yokohamaryokuchi.co.jp		
	事業開始年月	昭和49年6月	環境への取組を開始した年月	平成17年4月
	事業内容	造園工事・土木工事等の企画、提案・施工・管理 ・ 公園・動植物園・ゴルフ場の運営・企画・管理（公園指定管理者等） ・ 集合住宅・企業・工場等の緑地管理及び育成 ・ 樹木・芝生等の管理及び病虫害防除 ・ 緑化関連資材の生産・販売・輸出入等 ・ 飲食店・売店等の経営及び管理		
	環境への取組について過去に受けた表彰等	なし		
本社	名称	横浜緑地株式会社	所在地	横浜市磯子区杉田4丁目5番10号
	総従業員数	161名	資本金	3,500万円

2 環境に対する企業理念の設定、管理体制

(1) 基本理念・自己宣言等

建設業の中で唯一生き物を扱う造園会社として、みどり豊かな地域社会づくりに貢献する環境創造企業です。チャレンジ精神を忘れず、変化する時代の流れに対応し、環境活動についても常に新しい技術を取り入れた事業を展開しています。

(2) 環境マネジメントシステム関連

	取組等の名称	詳細内容
ア 認証等	ISO 14001	平成 25 年に認証を取得し、以後継続しています。 また、以下の環境方針を定めています。 1) 当社は、環境マネジメントシステムを構築し、「造園工事、樹木の維持・育成管理、公園の運営」に係る環境影響に対して、環境負荷の低減、削減、緩和に努める。 2) 環境マネジメントシステム及び環境パフォーマンスの継続的改善に努める。 3) 施工計画、事業計画を適切に策定し、環境汚染の予防及び環境保全の維持管理に努める。 4) 法的要求事項及び顧客、地域社会等の要求事項を遵守する。 5) 環境方針に基づいた環境目的及び目標を設定する。 6) 環境方針を見直した場合には、これに伴い環境目的及び目標の見直しを行う。 7) 環境方針の実施計画を立て、実施し、マネジメントレビューに於いて見直しを行う。 8) 環境方針は文書化し、掲示、配布等により、社内及び協力業者に周知する。 9) 環境方針は、環境保全活動を推進するために、顧客及び地域社会に公開する。

イ 組織体制	環境管理責任者 管理課担当者	<ul style="list-style-type: none"> 環境管理責任者、管理課担当者を選任しています。 環境マネジメントの項目毎に主管部署、関連部署を定めています。
ウ チェック 機構	内部監査 外部審査	<ul style="list-style-type: none"> 環境マネジメントに必要なプロセスと組織への適用を「マネジメントシステム役割分担表」で明確にし、管理しています。 年度毎の内部監査計画表に基づき、内部監査を行っています。 年1回の認証機関による審査を行っています。
エ その他の 取組	—	—

(3) 取組結果等の公表・広報

横浜緑地 HP の地域貢献ページ、公園 HP の「エコ活動について」ページで発信。イベント等の取り組みはプレスリリースで発信。

3 環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入

製品・技術・サービス などの名称	詳細内容
ロボット芝刈り機オートモア	<p>私たちは身近な環境改善をめざすとともに、花と緑にあふれ、あらゆる人にとって暮らしやすい街づくりを目指し、環境に配慮した製品を導入・普及させてきます。</p> <p>低騒音かつ有害な排気ガスを生成しないロボット芝刈り機オートモアの導入・販売を2018年から行っています。 (平成30年度から開始)</p>
充電式ブロワー・草刈り機の導入	<p>造園工事、公園等の現場で環境負荷の少ない充電式の機器を使用しています。 (平成29年度から開始)</p>
植物・ガーデニンググッズのリサイクル	<p>植物・ガーデニンググッズのリサイクルを環境活動プログラムとして、行っています。リサイクル活動とともに、不要になった植木鉢などを利用したワークショップを行うことで楽しみながら環境活動に参加できる仕組みを作っています。 (平成28年度から開始)</p>

4 事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

※取組や活動を開始した年度も記載してください。

	取組・活動等の名称	詳細内容
(1) 省エネ・CO2 排出量削減の 取組	はまっ子ユーキ	公園で発生する剪定枝や刈り草をリサイクルした堆肥「はまっ子ユーキ」の活用・販売しています。 (平成19年度から開始)
	グリーンカーテンプロジェクト	夏のエコ活動として、グリーンカーテンを設置しています。 (平成17年度から開始)
(2) 廃棄物削減の 取組	土のリサイクル	花壇からでる土を再利用したり、コンポストで剪定枝や落葉などで堆肥を作り、ゴミを減量しています。 (平成19年度から開始)
	ペットボトルキャップの改修	エコキャップ、段ボールの資源を公園で収集しリサイクルしています。 (平成21年度から開始)
	リサイクル品を使ったワークショップ	家庭から出るリサイクル品をワークショップなどで再利用しています。 (平成28年度から開始)

(3) 生物多様性 保全等の取組	はち育	平成 30 年 4 月から新杉田公園で環境教育プログラム「はち育®」を開始しました。 ※詳細は補足資料に記載 (平成 30 年度から開始)
(4) 社会貢献活動	「ヨコハマ・エコ・スクール」の協働パートナーとして登録・活動	平成 22 年度から登録 『グリーンカーテン講座』平成 24 年・平成 25 年 港南区役所 各回約 20 名受講
	花と緑に関する出張講座	・『寄せ植え講座』 杉田地区センター 平成 25 年から毎年実施。 多肉植物の寄せ植えなど人気の講座を取り入れています。(年 1 回以上 5 月頃) 約 15 名参加 ・『ミニ門松づくり』 浜中コミュニティセンター 平成 25 年から毎年実施 (年 1 回 12 月) 約 15 名参加
	よこはま協働の森基金	植物・ガーデニンググッズのリサイクルで得た売り上げを全額、よこはま協働の森基金に寄付しています。 (平成 30 年 3 月、11 月に寄付)
	1 フラワー for 10 スマイル	福祉施設 (社会福祉法人共同舎) から花苗・花の種を購入し、ゴミ持ち帰り運動等と合わせて公園利用者に配布しています。 (平成 26 年度から開始)
スマイリングプロジェクト	市民参加型の地域活動の推進をし、私たちが管理運営する公園では地域の自治会や幼稚園、保育園、小学校などと花壇づくりを行っています。(平成 23 年度から開始) <日野中央公園での活動事例> ・チューリップの球根植え コスモス保育園、日野小学校、子育て支援スクール「はっち」 (1 回/年) ・花壇づくり 日野第三町内ほか (2 回以上/年) ・樹名板・ポスター作り 日野小学校 (1 回/2~3 年) など	

5 成果を上げている取組や先駆的・模範的な取組・事業

取組や事業の名称	詳細内容
はち育	今年度、新杉田公園で環境教育プログラム「はち育」を開始しました。4月から専門家の指導のもとみつばちの飼育を開始し、およそ半年間の準備期間ののち、本格的に開始しました。 「はち育」をきっかけに近隣の小学校へ出張講座を行い、新杉田という工業地帯が隣接する地域でみつばちを飼育できること、はちみつが採れることを伝え、子ども達に身近な環境を知ってもらうきっかけとなりました。また、みつばちが地域の植物の受粉を行うことで環境保全にもつながります。 採蜜したはちみつは隣接する福祉施設で瓶詰め、ラベル貼りなどを行い製品化し、11月に大通り公園の有効活用実証実験のイベント会場で販売することができました。磯子区の新杉田で行っている取組みを多くの人で賑わう大通り公園で紹介することができ、環境活動の取り組みを広く伝えられました。

6 審査にあたり、最も注目してもらいたい取組、PRポイント

※最も注目してもらいたい/評価してもらいたい取組や、これまでの項目に当てはまらないPRポイントについて具体的に記入してください。

私たちは、花と緑そして「人をつなぐ」をテーマにした環境活動を多数実施し、継続して行っています。時代・環境の変化や人々のニーズに応じた活動を取り入れ、地域や環境に還元するとともに、自らも「楽しもう」という気持で環境活動に取り組んでいます。



※個人が識別できる写真には
網掛けをしています。

横浜緑地株式会社

**私たちの環境活動は、
継続・発展させ、皆さんに伝えることです。**

私たちの環境活動は、社員一人一人が日常的に環境活動に関り継続していることです。そして、環境の変化、時代の変化、人々のニーズの変化にいち早く対応し、社員が楽しみながら新たな活動を取り入れ、人々に伝えています。

**これまでの環境活動を
継続する**



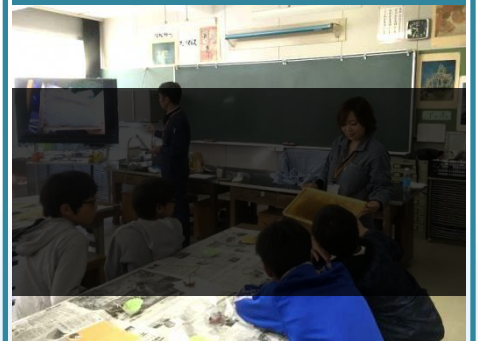
市民とつくる花壇（日野中央公園）

**新たな環境活動を
取り入れ実践する**



リサイクル活動（大通り公園）

**私たちの環境活動を
人々に伝える**



小学校への「はち育」出張講座



環境に配慮した製品や技術開発、サービス等の提供・導入

環境活動の分野においても人々のニーズ、時代の流れに対応したサービスや技術を取り入れた事業を展開しています。

環境に配慮した製品を導入・普及を通して、身近な環境改善をめざすとともに、花と緑にあふれ、あらゆる人にとって暮らしやすい街づくりを目指しています。



里山ガーデンでの稼働の様子

ロボット芝刈り機オートモア

ロボット芝刈り機オートモアの導入及び販売を行っています。

本製品は、低騒音で、時間や場所を問わず稼働することができます。また、有害な排気ガスを生成しないため、環境に配慮した製品です。

平成30年度に県立三ツ池公園、里山ガーデンで導入実績があります。



新杉田公園のブロワー使用の様子

充電式ブロワー・草刈り機の導入

工事の現場や公園で排出ガスゼロの充電式の機材を使用しています。平成29年度からは、新杉田公園で利用者や隣接する住宅に配慮し、このブロワーを導入し始めました。環境に配慮した、低騒音、排出ガスゼロ、軽量・低振動のブロワーは、公園利用者へのアピールにもつながります。

事業活動において環境に配慮している取組、社会貢献活動

私たちは、昭和49年の創業以来、横浜という地域に根差して造園業を営んできました。唯一、生き物を扱う建設業として、豊かな環境づくりに貢献していきたいと願っています。そして、平成17年の都市公園の指定管理制度への参入以来、より一層の環境サービスの提供に努めています。

(1)省エネ・CO2排出量削減の取組

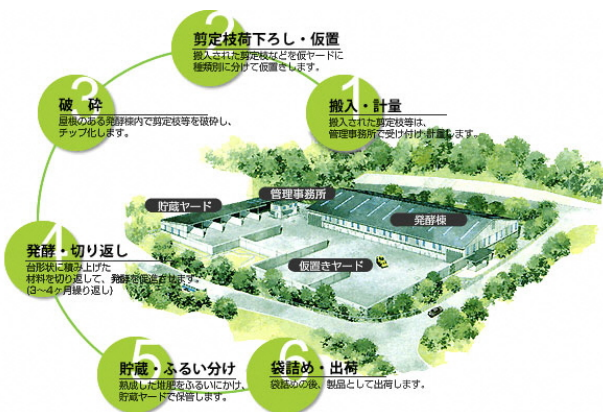


リサイクル堆肥「はまっ子ユーク」の販売

はまっ子ユークは、これまで焼却処分されていた横浜市内の公園で発生する剪定枝や刈草、街路樹の剪定枝や伐採樹木などを原材料としています。植物発生材のみが原材料となっているため、環境にやさしく、安心して使用できる堆肥です。

緑のリサイクルプラントで作っているリサイクル堆肥「はまっ子ユーク」を活用することで、横浜の環境負荷削減にもつなげています。

日ノ出川公園、新杉田公園、岡村公園、日野中央公園などで継続



新杉田公園の緑のカーテン

グリーンカーテン・プロジェクト

グリーンカーテンとは、つる性の植物をネットにはわせて覆う、エコカーテンです。アサガオ、ゴーヤ、ヒョウタンなどのツル性の植物が、夏の日差しを和らげ、室温の上昇を抑えるため、クーラーなどの使用を減らすことができます。

日ノ出川公園、新杉田公園、岡村公園、日野中央公園などで継続

(3)生物多様性保全等の取組



講師指導のもとスタッフが採蜜している様子



研修の様子



新杉田公園の立地状況とみつばちの行動範囲

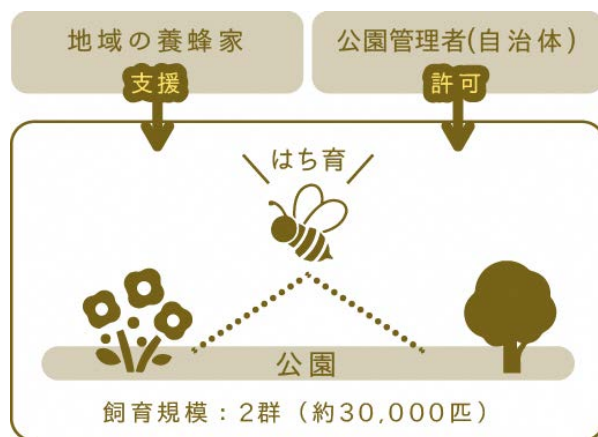
新杉田公園の「はち育」

「はち育®」は、公園内でみつばちを飼育し、みつばちの特性を活かした環境教育プログラムです。

平成30年4月から新杉田公園で開始した「はち育」は、公園内でみつばちを飼育し、みつばちの特性を活かした出張講座を実施するとともに、採蜜したはちみつによる商品開発等の地域連携の促進や地域振興を図っています。

新杉田公園では、2群のセイヨウミツバチを飼育しています。定期的（月2回から1回）養蜂家の技術指導を受けて、独自のマニュアルを作成し、公園スタッフが園内でみつばちの飼育管理を行っています。また、スタッフの技術向上の研修も行っています。

みつばちの管理、採蜜を行うのは全員女性スタッフです。



<はち育を行う環境>

みつばちの行動範囲は半径約2～3kmであり、その範囲の中で咲いている花から蜜を集めます。

新杉田公園が位置する磯子区新杉田は臨海部に工業地帯・産業道路、高速道路を有しています。また、新杉田公園は、これらと住宅地等の緩衝緑地の役割も担っています。

住民が身近に自然を感じることが少ない地域での実施は、私たちの生活が植物・生物との共生によって成り立っていることを実感できるものでもあります。



「いそご地域活動ホームいぶき」での製造の様子



新杉田公園のはちみつShinsugitaPark Honey



梅林小学校での「はち育」出張講座の様子

みつばちは環境の変化に敏感で、農薬や環境ホルモンなどの影響を受けやすい生き物です。みつばちがいる地域は、人にとっても住みやすい環境であると言えます。

みつばちの
住みやすい地域



人にとっても
住みやすい環境



みつばちは、植物の受粉の手助けをします。また、植物の保全に役立っています。

<はちみつの製品化>

飼育開始からおよそ半年後にまとまった量のはちみつが採取できたため、公園オリジナルのはちみつを平成30年11月から販売を開始しました。

発売となったのは、横浜の大通り公園です。横浜市の都心整備局が行う大通り公園活用の実証実験に花と緑のイベントで参加し、この会場で新杉田公園のはちみつを販売しました。多くの人で賑わう場で環境活動をアピールすることができました。

はちみつの製造は、新杉田公園に隣接する福祉施設「いそご地域活動ホームいぶき」で行っています。

地産地消のコンセプトのもと、地域団体や企業等と連携した商品開発を行うことで、地域活性化にも貢献しています。

<出張講座>

開始して間もない事業ですが、11月17日には近隣の「梅林小学校」出張講座「みつばちのひみつ」を実施しました。

内容は、みつばちの生態の講座やみつろうを使ったワックスパーづくり、みつばちクイズを通して子どもにわかり易く「はち育」を紹介しました。今後も「はち育」を通して、生物多様性の保全活動を拡大していきます。

(4) 社会貢献活動



地球温暖化対策実行計画

「ヨコハマ・エコ・スクール」の協働パートナーとして登録・活動しています。依頼があれば、緑に関する専門性を持った社員が公共施設へ出張し、グリーンカーテン講座行っています。その他、寄せ植え出張講座を年1回から2回定期的に行っています。



1フラワーfor10スマイル

福祉施設「社会福祉法人共同舎」から花苗・花の種を購入し、ゴミ持ち帰り運動等と合わせて公園利用者に配布しています。ポストカードサイズのリーフレットに「社会福祉法人共同舎」から袋詰めした花の種を貼付し配布しています。平成26年度から県立観音崎公園で継続



スマイリングプロジェクト

地域のより良い環境を目指して、私たちが企画する様々なイベントやボランティア活動などの取組みを「スマイリング」と称し、活動を通して人と人とのつながり、環境の保全、地域の活性化など「ひと・まち・えがお」の輪を拡げるプロジェクトです。・幼稚園・保育園・小学校との花壇づくり、近隣教育機関生徒などによる、花苗の植付けや種まきを行います。

【主な活動】

- ・小学生生徒の花壇づくり
花壇の樹名板、注意看板を制作・設置。
- ・高校生のボランティア活動
近隣高校の生徒による落ち葉清掃などを実施。
- ・花壇づくり、植物の手入れ
花壇づくりデザインやバラなどの剪定・手入れのノウハウを提供し、協働作業。など

- 上) 子どもたちと作る花壇づくり
- 下) 地域自治体と行う花壇の整備 (日野中央公園)

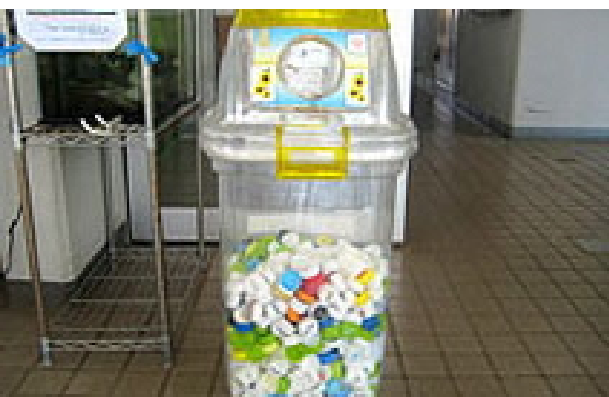
(2) 廃棄物削減の取組



土のリサイクル

植え替えの時に出る古い土を、再利用しています。ゴミや虫をふるいで取り除き、太陽の熱で消毒。はまっ子ユーキヤ、石灰・肥料を混ぜています。また、日野中央公園では、コンポストで枯葉などから堆肥を作り、学校の課外授業の際に紹介しています。

日ノ出川公園、新杉田公園、岡村公園、日野中央公園などで継続



ペットボトルキャップの回収活動

世界の子供たちにワクチンを届けるため、公園を利用する皆さんが参加しながら、ペットボトルキャップ回収活動を行なっています。

日ノ出川公園、新杉田公園、岡村公園、日野中央公園などで継続



リサイクル品を使ったワークショップ

地域の方から集めた不要品を使ったワークショップを実施しています。

不要となった植木鉢を使ったキャンドルやペイントを行っています。子どもに特に人気なのは鉢ペイントです。

管理しきれなくなった植物や素焼きの植木鉢や植物は、高齢化した世帯から多く集められます。

【鉢ペイント】

素焼きの植木鉢に自由に絵を描くワークショップ、自分で描いた植木鉢に寄せ植えをしたり、キャンドルにすることができます。

【キャンドル作り】

植木鉢の底穴を粘土で塞ぎ、香りのついた蠟を流し入れ、ドライフラワーで飾り付けをします。

平成29年3月から継続
横浜市大通り公園、県立観音崎公園で実施



上) 鉢ペイント 下) キャンドル作り (大通り公園)